

Piano Duo Sakamoto

坂本彩・坂本リサ



第70回ARDミュンヘン国際音楽コンクールピアノデュオ部門において、日本人デュオとして初の第3位入賞・併せて聴衆賞・特別賞を受賞。
第7回国際ピアノデュオコンペティション(ポーランド)にて第1位及びパデレフスキ賞受賞
第21回シューベルト国際ピアノデュオコンクール(チェコ)にて第1位を受賞するなど、数々のコンクールにおいて受賞を重ねる。

2022年3月、日本センチュリー交響楽団 定期演奏会において、久石譲作曲「Variation 57 ~2台のピアノのための協奏曲~」管弦楽版を作曲者自身による指揮のもと世界初演。これまでにハワード・グリフィス、ジョナサン・ノット、パスカル・ロフェ、ロマン・レシェキン、久石譲などの指揮者、ウィーン放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団、東京交響楽団、九州交響楽団、広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとする国内外のオーケストラとの共演、東京・春・音楽祭やベルリン・ピアノデュオフェスティバルなどの音楽祭への出演など、各地で積極的な演奏活動を行っている。

2019年NHK-FM「ありがとうFM50」生放送にて演奏。NHK「クラシック倶楽部」「ベストオブクラシック」、NHK Eテレ「囲碁フォーカス」他、テレビや新聞などのメディアにも多数取り上げられる。ウィーン放送交響楽団とのモーツァルト「2台のピアノのための協奏曲」は、ALPHA CLASSICSよりリリースされている。

姉妹ともに東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程ピアノ科で学び、ロストック音楽・演劇大学(ドイツ)ピアノデュオ科修士課程、さらに同大学の国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。

2021年度ブルーノ・フライ音楽賞を受賞。2023年度福岡市文化賞を受賞。

ピアノデュオを田中美江、横山幸雄、加藤真一郎、伊藤恵、Olha Chipak&Oleksiy Kushnir、Hans-Peter Stenzl&Volker Stenzlの各氏に師事。

姉妹共に囲碁三段の免状を持つ。

同日開催

アフターパーティー

「食と器と音楽の饗宴」

開宴	18時
会場	虹の松原ホテル2階レストラン
会費	6,000円
限定	50名